みらい未来

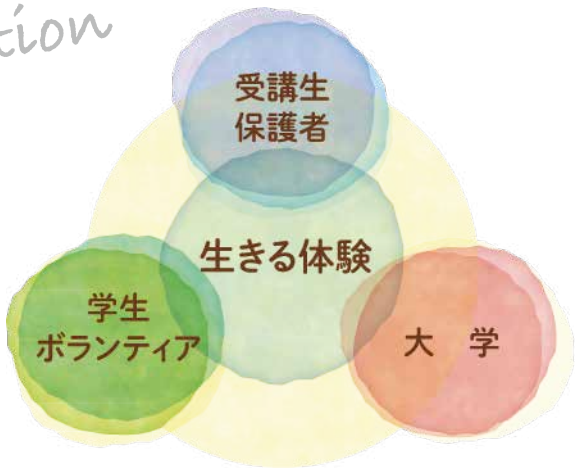
―「生きる体験」を目指して―

文部科学省
令和6年度「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」
主催：千里金蘭大学（みらい未来・オープンカレッジ実行委員会）

Challenged のための OPEN COLLEGE

もっと学びたい
もっと自分のことを話したい
もっと誰かとつながりたい

「生きる体験」の交流 Interaction



目指すべき活動

ＡＹＡ世代の受講生には、「あそび」「学び」といった
同年代の学生ボランティアと同様の体験を通して、
「生きる」ことを実感していただきたい。
私たちはそのことを「生きる体験」と呼び、
この活動を行いと考えています。

連携大学

大阪教育大学 教育学部
大阪信愛学院大学 看護学部
千里金蘭大学 看護学部
藍野大学　看護学部

みらい未来・オープンカレッジ実行委員会

大阪市総合医療センター
小児脳神経内科部長
岡崎　伸
多くの立場の人と協同し、高校卒業後に憧れてもらえる場を目指せればと思います。

国立大学法人大阪教育大学
特別支援教育部門　特任教授
早野　眞美
オープンカレッジは、出会い・笑顔・つながりの場です。皆さんの笑顔を待ってます。

国立大学法人大阪教育大学
特別支援教育部門　教授
平賀　健太郎
その日が待ち遠しくなる今を満たす学びを一緒に創っていきましょう。

大阪信愛学院大学
看護学部　准教授
阪上　由美
誰もが当たり前に「学ぶ」ことができるよう、この活動を広めていきたいと思います。是非、本学のキャンパスでお会いしましょう!

千里金蘭大学
看護学部　教授
合田　友美
豊かに生きる喜びを感じられる時間(ひととき)を、「AYA世代」の皆さんと共に過ごしたいです。

藍野大学
看護学部　教授
西田　千夏
新たな出会いへの期待を抱きながら、皆様とともにオープンカレッジを創り上げていきたいです。

昭和大学
保健医療学研究科　准教授
副島　賢和
わくわくどきどきをいっしょにつくりましょう!
o(´・●・`)o

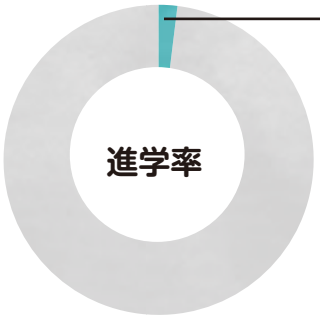
Challenged（チャレンジド）というのは「障がいがある」を表す新しい米語「the challenged（ 挑戦という使命や課題、挑戦するチャンスや資格を与えられた人)」を語源とし、障がいをマイナスとのみ捉えるのでなく、障がいを持つゆえに体験する様々な事象を自分自身のため、あるいは社会のためポジティブに生かして行こう、という想いを込め、プロップが 1995 年から提唱している呼称です。

Report 01

病気や障害がある人の高校卒業後のまなびの現状
（生涯教育を含む）

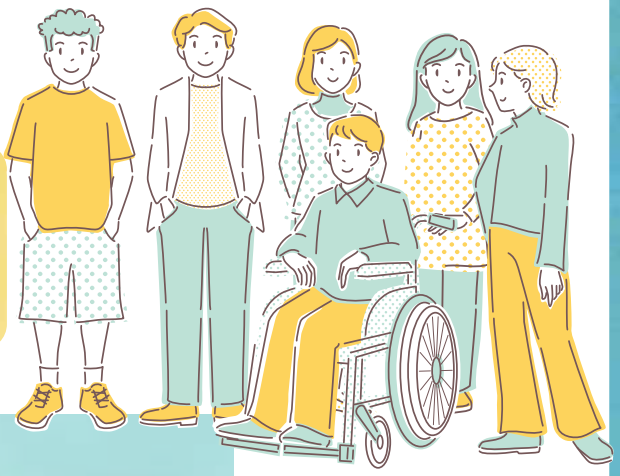
障がいがある人の学校卒業後の状況

特別支援学校卒業生の高等教育機関への進学率



約2.2%

卒業生の９割近くを占める
知的障害者は
約0.5%



VOICE

学校卒業後、学びや交流の場は
どうなってしまうのか、
とても不安に感じている

障害者はその特性から、
ゆっくりと成長するのに、
学び続けることができない

障がいがある人本人の意識・ニーズ

※平成30年度 障害者本人の意識等調査の結果より

- 障害者の学習機会が充実されることは重要だと思う **81.1%**

一方で

- 一緒に学習する友人、仲間がいない **71.7%**
- 学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない **66.3%**
- 知りたいことを学ぶための場や学習プログラムが身近にない **67.2%**

大学教室での授業を開催
新たな学びのの場で共に学びます

会場

大阪信愛学院大学
城東キャンパス

大阪市城東区古市 2-7-30

図工室

陶芸や書道、生物顕微鏡観察入門の演習を行いました

学院ホール

棒サッカーを開催しました

リズム室

句会や音楽の演習を行いました

ケアセンター

お昼休みの休憩室として利用しました

Report 02

誰もが、共に学び、生きる共生社会を目指して

みらい未来（オープンカレッジ）は、下記の２つの目的で
大阪で教育・医療の有志を中心に立ち上げています

Purpose 目的 01

文部科学省と連携
障がいがある方が
大学・専門学校で学べる場つくり

●文部科学省

平成26年
「障害者権利条約」批准
→ 第24条「生涯学習の機会の確保」

平成28年
「障害者差別解消法」の施行
→ 国・自治体における合理的配慮の義務化

平成29年4月
大臣メッセージ
「特別支援教育の生涯学習化に向けて」

平成29年度
生涯学習政策局（現 総合教育政策局）に
「障害者学習支援推進室」を新設

Purpose 目的 02

日本学術振興会科学研究費助成事業ー科研費 / 文部科研ー
小児緩和ケア児（重い病気や障がいがある子ども）の
「生きる体験」である生涯教育についての研究（調査）

小児緩和ケア児の生きる体験に基づいた
AYA世代の生涯教育のためのガイドブック開発

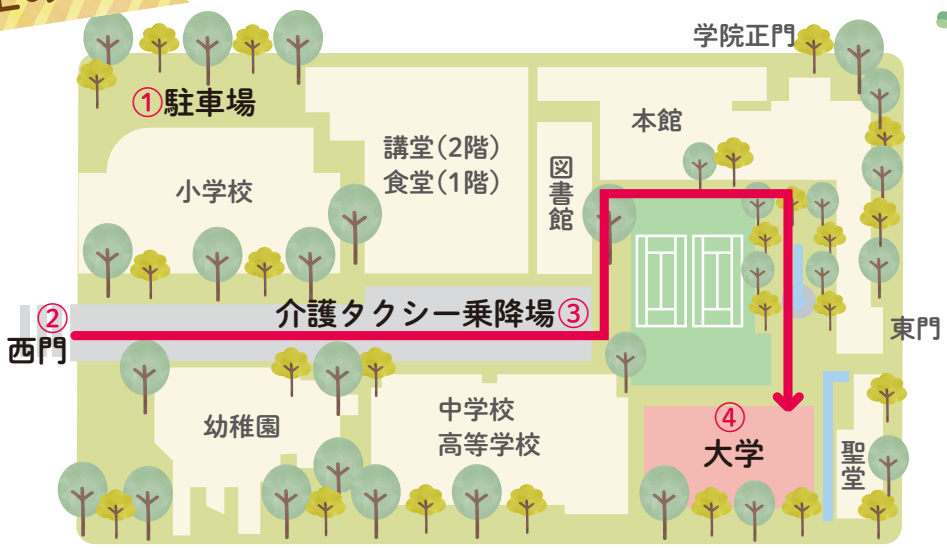
2023年～2026年

研究代表者：岡崎伸
研究分担者：合田友美・西田千夏・早野眞美・阪上由美・平賀健太郎・副島賢和

いきいきと、自分らしく学ぶ

受講生の一日

9:30
登校



①小学校駐車場を駐車場駐車いただけます。
福祉タクシーなどで送迎をされる場合②西門から入り、③で降車いただきます。
学生ボランティアが迎えに伺いますので、一緒に教室④へ向かいます。

10:00
午前の講義

学生ボランティアと
一緒に学んでいます！

12:00
お昼休憩

横になりリラックスできる場を
設けさせていただきますので、
ご家族とゆっくりと
食事をとっていただきます。

13:00
午前の講義

昼からも
授業を頑張ります

15:00
放課後活動

学生ボランティア企画

学生ならではのアイデアと
トークができて、
とても楽しみです。

16:00
下校

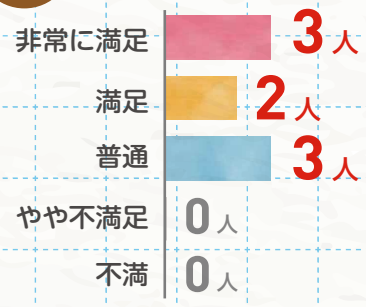
お疲れさま
でした！

数字でみる参加者アンケート

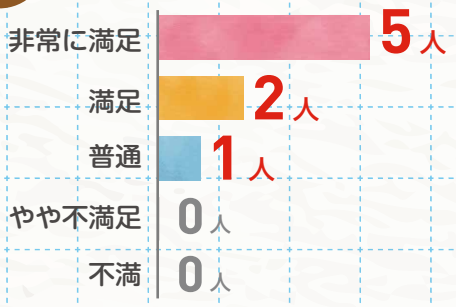
第１回目

Q 本日の活動について満足でしたか

開校式



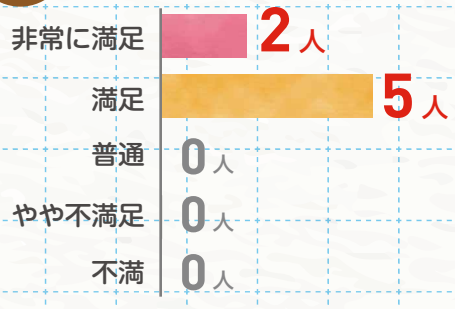
午後



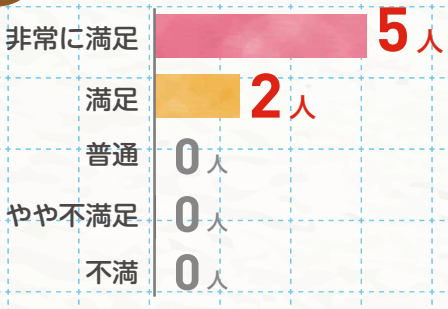
第２回目

Q 本日の活動について満足でしたか

午前



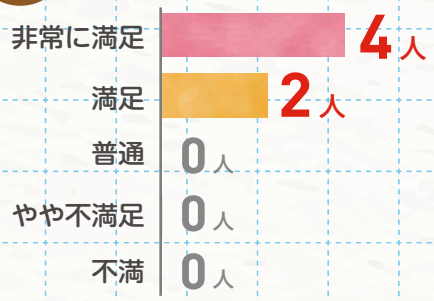
午後



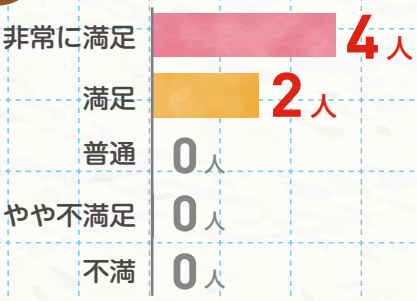
第３回目

Q 本日の活動について満足でしたか

午前



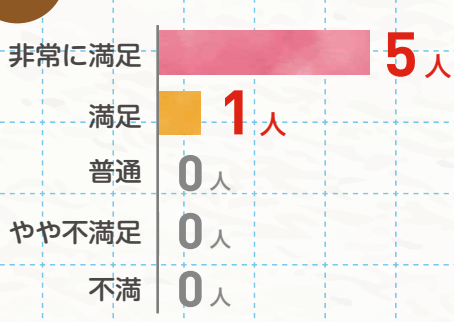
午後



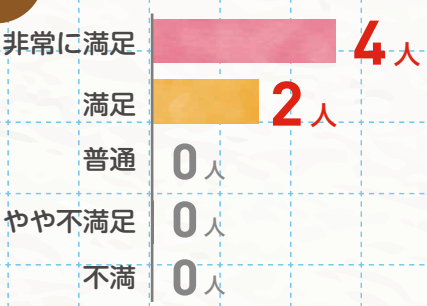
第４回目

Q 本日の活動について満足でしたか

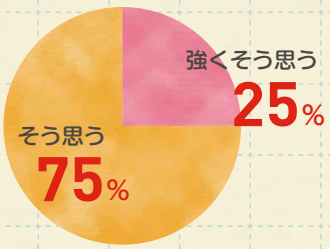
午前



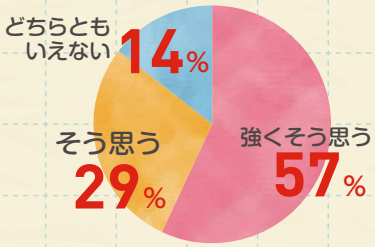
卒業式



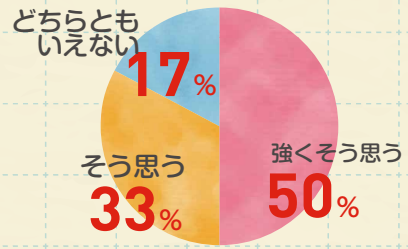
Q 開催時期は適切でしたか



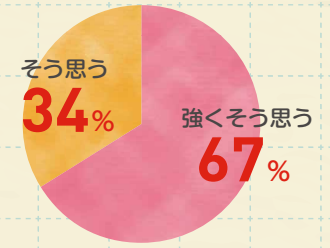
Q 休息場所は適切でしたか



Q プログラムの長さは適切でしたか



Q スタッフの対応は適切でしたか



2024年の様子

2024.9.16（月・祝）第1回目

午前の講義

午後の講義

講義：棒サッカー

講師：
棒サッカー協会担当者

受講生、保護者と
学生ボランティアが協力して、
ゴールを目指しました。

受講生保護者の声

午前：歴史ある素敵な講堂での開校式は、先生方はじめボランティアの皆さんの温かさに包まれとても良かったです 。ピアノ演奏とても感動しました
初めは娘も少し緊張していた様子でしたが、楽しむ事が出来ました。
午後：試合をたくさんできて楽しめました。試合が重なれば重なるほど白熱した試合が繰り広げられ保護者同士のゲームで楽しめて日頃のストレスが発散できたようにスッキリしました。子どもに棒を握らせて一緒に動かしていました。・エキサイティングしてしまいました。

2024.10.20（日）第2回目

午前の講義

講義：古代文字を学ぶ
自分の名前を篆書で書こう

講師：支援学校の先生方

漢字の成り立ちを学び、
自分の名前の漢字 1 文字を
古代文字で書き、
「書く」ことの
楽しさを感じました。

午後の講義

講義：句　会

講師：昭和大学
副島 賢和先生

受講生保護者の声

午前：古代文字を知ることができ、また書く事ができ、さまざまな文字や色で個性が出て良かったと思いました。
午後：ピエロで登場して下さった副島先生のお人柄が現れた、とても楽しく充実した授業でした
学生さん方とチームになりわいわいと俳句を考えたのが楽しかったです。先生のお話大変面白く、引き込まれました。俳句と言われると少し抵抗ありましたが、ボランティアの学生さんと楽しく取り組めました。鼻が赤かったのがおもしろかった、

2024年の様子

2024.11.24（日）第3回目

講義：音　楽

講師：日本音楽療法学会認定
音楽療法士
重山 直子先生

午前の講義

音楽活動の中で、
各自ができることや
好きな音を奏で、
自分らしさを表現しました。

午後の講義

実際に顕微鏡を使って、
見たことのない
生き物の体の仕組みや
生物の基本単位の細胞を
観察して、ビックリ！！
微細な世界の探究を
楽しみました。

講義：生物顕微鏡観察入門

講師：大阪教育大学
仲矢 史雄先生

放課後活動

学生ボランティアが企画しました。
「行ってみたいところ」など
お題を数個用紙に書いて、数名づつのグループで、
さまざまなお話をして、楽しみました。

受講生保護者の声

午前：世界中の色んな楽器を実際に触る事ができ、綺麗な音色に癒されました。
視覚障害のある子なので、音の授業はとても楽しかったと思います。知らない楽器をたくさん触れたのもとてもよかったです。色んな初めて見る楽器を触らせて頂き、実際鳴らして楽しむことができました。
午後：自分の細胞を見る事ができ、大変貴重な経験となりました。先生のお話もとても面白く大変勉強になりました。素敵な記念品をありがとうございました。

2024.12.22（日）第4回目

講義：クラフト

講師：支援学校の先生方

午前の講義

支援校になる大きなまつぼっくりで
クリスマスのオーナメントを作りました！

午後の講義

修了式

修了証書の授与です。
受講生の皆さんは、
それぞれ大学への
通学を頑張られました。
最後は、はなむけの言葉と
歌のプレゼントを行いました。

受講生保護者の声

午前：大きな松ぼっくりに驚いていましたが、色んな飾りを選んで学生さんにつけてもらい仕上がりました。今年のクリスマスの良い思い出ができました。飾ってる間、オープンカレッジの事も思い出せて幸せ時間が続きそうです、ありがとうございました。
午後：修了証を貰えて嬉しかった。頑張って行って良かった。素晴らしい修了式をしてくださりありがとうございました。胸に胡蝶蘭の飾りをつけていただき、賞状まで頂戴し、お祝いの言葉を頂きありがとうございました。学生さん方が少しでも子どもの特性を知り何かの気付きになれば幸いです。あっという間の卒業で名残惜しいかったです、先生方、学生ボランティアの皆さんと過ごせた時間が宝物になりました。

アクセス

大阪信愛学院大学　城東キャンパス

大阪市城東区古市 2-7-30

［本冊子について］
2025年3月6日　第1冊発行（非売品）
発行：千里金蘭大学　編集：エフキー